

やっとできた！ 第9回久玉ふるさと夏祭り



久振だより

人口2501人
1387世帯
-第184号-
発行
久玉地区振興会
発行日
令和5年9月1日



8月14日(月)午後6時 ドドンと勢いよく爆竹が鳴った。

久玉ふれあい広場で「ふるさと夏祭り」開催の合図だ。

令和2年～4年までコロナ禍でできなかった祭りがやっとできる。

この夏祭りは、昔あった盆行事を復活させ、地域住民と帰省客らが集い、ふるさとの良さを感じながら楽しいひとときを過ごしてもらいたいとの思いから開催している。

3年間の空白があったので集客に一抹の不安があったが、開会時には子供達、その保護者、爺ちゃん、婆ちゃん会場は多くの人で溢れていた。

帰省客なのだろう、カラオケでは派手な踊りとリズムカルな歌で会場が盛り上がる。

露店も浦田ショッピング・小崎さんの出店に加え、久玉地区の若者グループ「くたまんモンまち活衆会」が屋台を出しお客の対応に追われていた。

上揚地区の竹灯籠の灯りもローソクから電飾に替えたことで、あざやかな光が放たれ、より美しく輝いていた。

待ち焦がれた「ふるさと夏祭り」最後の盆踊りも参加者が多く、浴衣姿の子供達の踊りが可愛かった。



振興会会長の挨拶でスタート！



お菓子投げにみんな夢中!!



大きいお菓子を釣りたい



最後は「久玉城山音頭」総踊り

夏祭りを写真で紹介!



総合司会のお二人



西村県議・鯖江市議に挨拶いただきました



竹灯籠の模様もキレイです!



片白さんによる〇×クイズ



みんな上手に踊れてる!



コーラ早飲み競争!



カラオケ飛び入り参加



くたまんモンまち活衆会の屋台も大好評!



伊勢海老ほしい人集まれ!



こちらも飛び入り参加



フラダンス 素敵です!



狙え!ホールインワン!!

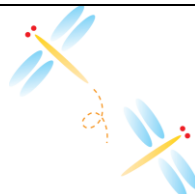


幻想的な竹灯籠



日が沈み涼しくなってきた

老若男女が力を合わせて「奉仕作業」



8月9日、正光寺の清掃奉仕作業と聞いていたので取材に行った。

早朝7時15分に着くと既に30~40人が作業にかかっていた。

作業は境内の草むしり、刈払機での除草作業、生垣の剪定等があるが、恒例の作業なので、持ち場は年齢に応じて自ずと決まっているようだ。

それにしても今年の雑草は例年以上に生い茂っている。場所によっては腰に届きそうなところもある。

困難を要するのが高さ5~6m、長さ100mを超えそうな石垣の除草作業。石垣が見えないほどに茂った雑草を除去するため梯子を掛け、刈払機を器用に操り処理していく、これだけは経験を積んだ人でないとできない。

お寺の住職も除草作業に加えて飲み物を冷やしたりして諸々の対応に汗だくになっておられた。

牛深地区での真宗の本山「正光寺」は吉田区民の宝でもあるとの強い思いが伝わってきた。

今年の清掃作業は例年以上の暑さで大変だったと思うが、綺麗になった境内を眺めながら飲む冷たいお茶は格別だった。



「日韓文化交流の集い」



8月4日 久玉コミュニティセンターで「日韓文化交流の集い」がありました。

開演時刻、午後1時30分には平日にもかかわらず用意した100席はほぼ満席となり、オープニングでの「玉泉会」による牛深ハイヤ踊りが披露されると、韓国の人たちも、テンポよくキレのある踊りに見入っておられたようです。

韓国からは11名の芸術団員が出演、キーボード、笛、太鼓等による演奏があり、日本の「故郷」「赤トンボ」「柔」等の歌に親近感を覚えました。

そして、ドレス姿での韓国の華麗な踊りは動きがしなやかで思わず見惚れてしまい、ひとつひとつの演技が終わると会場からは大きな拍手が送られていました。

20年ほど前と思いますが、日本で爆発的なヒットとなりました韓国ドラマ「冬のソナタ」のテーマ曲が演奏されると懐かしい想いが蘇りました。

終了後、韓国の人から「会場いっぱいの人に暖かい拍手をもらい舞台の音響設備もよく、こんなに気持ちよく楽しい交流の集いは初めてです」と大変喜んでもらいました。



第3回くたま市民学級

「折り紙教室」 日時:9月13日(水)10:00～

講師:川原 征一郎 氏 場所:久玉地区コミュニティセンター

簡単なものから難しいものまで、多くの種類がある折り紙。
みんなで一緒にいろいろなものを作って楽しみませんか。



☆久玉しろやま文庫☆

「作って食べよう!パフェ」



8月の文庫は台風が来そうで心配しながらも、開催することができました。
当日(8月6日)は何人集まるのか不安でしたが、子供12人、大人3人、スタッフ7人が集まってくれました。
絵本「ふるふるフルーツ」を読みました。大きなパフェの絵がおいしそう!

手洗いの後、エプロンに着替えて、パフェづくりスタート。
作り方を説明したら、カップにフレークを入れ、次にアイスやクリーム、果物、トッポと次々に入れたら出来上がり。写真をパチリ!絵本とはちょっと違うパフェが出来ました。さあ食べるぞー!

感想では「みんなで協力してパフェづくりが出来てよかった。」「簡単にできたので家でも作りたい。」「次回も参加したい。美味しかった。」と嬉しい言葉が聞けました。

最後になりましたが、7月7日に坂田文香先生がお亡くなりになりました。
いつも大脇の横断歩道で朝からみんなを見守ってくださいました。
これからも空の上からずっと見守って下さると思います。感謝の8月でした。



久玉しろやま文庫



おいしいパフェ
できました!



「ミモザの会」の方がきれいなお花を
生けてくださいました!

次回のお知らせ 「十五夜・お団子とお茶を楽しむ」

9月3日(日) 10:00～11:30

※参加の申し込みはいりません!

時間までに久玉ふれあいセンターに来てください。

